

豊中市議会議員(保守系市民派・無所属)

福岡まさき

平成25年11月 後援会事務局発行 市政だより

定例議会報告



新手法の「まちづくり」提案…豊中市とURを動かす！

先進的【まちづくり】の取り組み

UR都市機構新千里東町団地の高層部分の建て替え約600戸で住民や地域と事業者、行政の協力で、利便性の向上や魅力的で先進的な「まちづくり」のモデルと豊中全市への拡大をめざしています。

❖駐車場設置比率の見直しへ

これまで千里ニュータウン内(豊中市)の開発では建設戸数に対し100%の駐車場設置比率が義務付けられていましたが、実態に合った指導の変更を求め取り組んできました。この見直しにより広い公園や緑地帯の確保が可能となります。

❖緊急車両到着への時間短縮が可能に

一方向からだった車導線の複数化を図り緊急自動車到着の時間短縮に取り組むほか、ほぼ休眠状態の豊中市道への接続を市とともに検討しています。この実現は国が指導する4分半以内に緊急自動車が到着できなかった空白地の解消と救命力世界一宣言都市にふさわしい取り組みの成果につながります。

❖こぼれび通りを魅力的な散歩道に

千里中央から千里中央公園に至る「こぼれび通り」の植樹帯の南側部分をURの協力をいただきUR敷地内に移設することで、「こぼれび通り」の拡幅と快適性が可能となるほか、この機会に古木となり倒木の危険が高いポプラやニセアカシヤの樹種の更新を図ります。

❖新施設の導入で魅力ある地域に

これまでとは違った多様な住宅供給で子育て世帯から高齢者まで安心して住み続けられるように、子育てや高齢者のサービス機能施設を建物内に入れ込む予定となっています。

更に、豊中市北東部で特に問題となっている待機児童解消や高齢者施設の決定的な不足の解消に寄与するためURや豊中市の協力体制を取り付けました。勿論、何といたっても居住者や地域社会の理解と協力は欠かせません。今後の公営及び公的住宅建て替えの先進的モデルに大きな期待が集まっています。

「新政とよなか」議員団控え室

〒561-8501 豊中市中桜塚3丁目1番1号
TEL 6858-2620 (直通) FAX 6852-2384

自宅

〒560-0082 豊中市新千里東町2-7 C27-1109
TEL 6833-7705 FAX 6831-1281

E-mail ximtechs@dab.hi-ho.ne.jp

【市政報告会】開催のお知らせ

日時 12/8(日) 午前10～12時
場所 都市機構新千里東町(集会所)

※豊中市政や地域の現状と課題について
ご報告と意見交換会を行います。

【福岡まさき】

活動日記

立花町3丁目マンション計画

豊中市立花町3丁目(豊中駅南)の旧日本生命社宅跡地に12階建てマンション計画が持ち上がっています。近隣自治会では閑静な住宅地の隣接地に12階建てマンションはふさわしくないと5階建てへの計画変更を主張し、議員団に反対運動への協力要請がありました。

しかし、この計画は合法的であり市が許認可を取り消すと行政訴訟の可能性が出てきます。そこで議員団の一部からは反対するだけでは何の利益も得られないし失うものばかりなので、事業者と協議し少しでも譲歩を取り付けることが大切だとアドバイスしました。

こうした問題に積極的に事前対応し、地区計画を成立させた緑ヶ丘地区ほかの「まちづくり」に学ぶべきで、今回のマンション計画は結果として大きな教訓を残した事になります。

わが家の「赤ちゃん先生」

「赤ちゃん先生」とは1歳前後の赤ちゃんが先生になって教育機関や高齢者施設などにママと一緒に訪問し、赤ちゃん先生クラスを開催します。赤ちゃんの共感力を使って地域社会をつなげることで無縁社会の解消や感じる心を育てることを目的としており、豊中市内の学校や施設での実施に向けて取り組んでいます。

現在わが家では娘が2人目の出産の為に帰省しており、1歳の長女がわが家の「赤ちゃん先生」として大きな役割を果たしています。また今春、施設へ入所した私の母(102歳)を定期的に訪問しますが、母はもとより施設に入居している方々や職員さんを表情豊かにさせる魔力に「赤ちゃん先生」の力を感じます。

「福岡まさき」は豊中を変える政策集団「新政とよなか議員団」の一員として日々活動しています。「政治は結果とスピード」を信条として確実な成果をめざします。

「空港問題特別委」視察と要望

8月29日に仙台空港を空港問題調査特別委員会として訪問しました。仙台空港は東日本大震災で壊滅的な被害を受けましたが、米軍海兵隊の協力や関係者のスピーディな復旧工事により1か月後には東京、大阪への定期便が復活。また、空港内にあった航空大学や管制業務研修所なども津波被害を教訓とした迅速な復旧作業と設備配置に取り組んでいました。今回視察した仙台空港は陸上空港でありながら大きな被害を受けたことから、関空と大阪国際空港(伊丹)の一体経営体制で取り組む新会社や豊中市にとっても学ぶべき事が多い視察となりました。

翌30日は国土交通省を訪問し、大阪国際空港に関する要望を行いました。具体的な要望事項としては 1.航空における安全・安心の確保 2.航空機騒音の発生源対策 3.空港周辺対策などのほか、4.空港機能の活用として利便性の向上を要請し、国際チャーター便や国内長距離路線の復活と増便を訴えました。

また、9月30日には新関西国際空港会社を訪れ、来年度中にも実施されるコンセッション(運営権売買)に関する速やかな情報提供と成功に向けての努力を要請しました。特に利用者や航空会社に評価される経営姿勢が最大の問題であることを提言しました。



「いろいろブログ」



「東京五輪開催」で日本の底力を

2020年のオリンピック開催が東京に決定した。ブエノスアイレスで開催されたIOC総会でロゲ会長から発表された瞬間、感激に目頭が熱くなり国民の一人として心から感謝とともに喜んだ。今回の決定については、事前のプレゼンで決定的な好印象を得たのは勿論、東京や日本に対する総合力が高く評価されたものと考えられる。

わが国の失われた20年は、経済での相対的地盤沈下や震災被害、長期にわたる政治的な空白状態で国民はすっかり自信を失い、内向き縮み志向が蔓延している。今回の2020年東京五輪開催決定を契機に国民みんなが自信を取り戻し**日本の底力**を世界に示したいものだ。改めて招致活動に長年ご苦勞頂いた関係者の皆様方に心より感謝したいと思います。

腐葉土づくりから何と！！

地元小学校や地域団体、ガールスカウトの協力をいただき、校内の枯れ葉や芝生の腐葉土づくりに取り組んでいることは以前にお伝えしました。

それが講じてわが家でも、妻がベランダの片隅で生ごみ堆肥に挑戦。1年後の今年、花や緑のカーテン作りにわが家の堆肥を使ったところ、次々と種類の違う双葉が現れ、花が咲き、ハチが飛び、実をつけたのはメロン、トマト、カボチャ、パプリカ、ピーマン、ジャガイモなど。メロンに模様が現れた時は感動でした。そして、子孫を残そうとする野菜たちの

本能と生命力にも元気づけられました。勿論、味はメロンそのものでした。



・その他には…

- 9月16日 台風18号が通過
- 10月11日 24年度決算委員会が…
- 10月15日 「街かど広場」12周年
- 10月27日 地域自治「防災部会」
- 10月28日 FM千里番組編成委員として

千里キャンドルロード 2013

「千里キャンドルロード」は、千里ニュータウンまちびらきから50年が経過した周年事業として、2012年11月に吹田市南千里公園で行われた光のアートイベントです。

約800名のボランティアのご協力により、千里ニュータウンの人口と同じ9万個のキャンドルに灯がともされ、1万5千人の人々が参加しイベントを楽しみました。

こうして生まれた貴重なつながりを絶やすことなく、未来に向かってコミュニケーションの輪を広げ育てることを目的とし、今年も開催に



(千里市民フォーラム提供)

向け千里市民フォーラムと多くのボランティアの方々が取り組んでいます。

11月9日(土) 16時~20時開催 (雨天中止)

今年は**こぼれび通り**と**千里中央公園**を会場として行われます。千里に関わる多くの人たちで創る「ひかりアート」の作品展示やコンサートで幻想的な秋の一夜を一緒にお楽しみください。

※ **ボランティア募集**…千里市民フォーラムでは市民の手によるイベントとして当日ボランティアを募集しています。ご協力いただける方は当日の午前9時に東丘保育所前のこぼれび通りへお越しください。よろしく願いいたします。

(事前準備など短時間でも可能です)



9月本会議での個人質問と議会活動

◇農薬使用と環境について

質問) ネオニコチノイド系農薬三種は現在使われている農薬の中でもコストパフォーマンスの高い代表的な農薬で世界中で使われています。

しかし、10年くらい前からその危険性が指摘され、ミツバチの帰巢本能の喪失と大量死についてその原因がネオニコチノイド系農薬によるものであるとの研究が発表されました。

わが国でもイネにつくカメムシの駆除に使われているのをはじめ多くの農家が多用途な目的で日常的に使用しています。この農薬の長期毒性についてEU(欧州連合)では基本理念である予防原則を第一とし、2年間その使用を停止し検証するとしています。

一方わが国では危険が立証されなければ使用を止めることが出来ないため、一部で使用自粛の動きもありますが現在でも使い続けており、市の見解を求めました。

答弁) この問題に対しては国の動向を注視しつつも市でできる情報収集に努めたい。

意見) 重要な問題提起がされたことを認識すべきであり、国の動向を見ているだけでは十分ではない。環境問題や地球温暖化に先進的政策で実績のあるEUの動向に注意すべきであり、市としても積極的に取り組むべきである。

◇公共インフラの安全について

質問) 道路や橋梁などの公共インフラの老朽化による市民の危険をこれまで指摘してきました。直近では5月13日に起こった寺内2丁目の道路陥没事故。また、9月3日の岡上の町でのマンホール周辺陥没事故では1歳の赤ちゃんを抱っこした母親が深さ2.5mの穴に転落しました。幸いにも2人は軽いけがで済みましたが、一つ間違えば惨事になるところでした。こうした頻発する事故に対する現状の対応と将来対策について質しました。

答弁) の趣旨については市道3,600路線、総延長650kmを9地区に区分しパトロールしている。内容的には目視による損傷の把握や異常の発見に努めているが、膨大な作業量で点検頻度が限られるため市民からの通報や事故があつて初めて発見されることが多い。

意見) 現在も市民は陥没事故の危険にさらされ続けている。従来の点検方法だけに頼ることなく、ハイテク機器による調査能力の向上や体制の強化に努めるべき。また、橋梁や建築物の維持管理についても素材メーカーを巻き込んだ新たな長寿命化計画が大きな流れとなっている。最新技術や工法の研究、低コストで効率的な維持管理で市民の安心・安全に貢献すべき。

政府と国会に意見書を提出!

UR都市機構 賃貸住宅は豊中市内に約8,000

戸あります。URでは3年ごとの家賃改定をルール化しており来年4月に値上げを予定しています。今議会で私は関西自治協の要請を受け豊中市議会として政府と国会、URに対し「値上げ中止」の意見書提出を取りまとめました。

URの賃貸事業は多くの空き家住宅を抱えながらも**黒字経営**を続けており、利益の多くは宅地事業等の穴埋めに使われています。高齢化が進み年金生活者が多くなった今、これ以上の居住者を犠牲にした負債の返済は容認できず、**天下りの禁止や大量の空き家の解消など経営の適正化こそ急ぐべきだ**と考えます。

・言いたい放題・

阪急阪神ホテルズ発の食材偽装事件が同業他社にも拡大してきた。会見した社長によれば「偽装ではなく誤表示で、お客様をだまし利益を得ようとしたものではない」と強調した。複数の食材が何年間も誤表示されていたという往生際の悪い態度にあきれるばかりだが、その社長も世間の批判に耐えきれず辞任した。本来、ホテル事業は「おもてなし」を最大の売りにする業界であり、各企業は猛省と信頼回復に努めてもらいたい。当然、ホテルは利用客への返金を始めたが、この上「なりすまし客」のニュースまでは聞きたくないものだ。